

2016年3度家計分析

提出者数

150名の提出があり提出率は89.3%となりました。前月より1名増えましたが前年より8名少なくなっています。どの費目に入れたらいいのか分からないなどの質問は遠慮なく事務局までお問い合わせください。一人でも多くの方に提出していただけるようお手伝いいたします。

収入

60代以上の「給料(夫・妻)」「年金(夫・妻)」「自家営業(夫)」「パートアルバイト収入(夫)」は前月に続き増え、入学祝や出産育児一時金のあった20代～30代の「その他収入」、40代の「給料(妻)」「パートアルバイト収入(妻)」「同居の家族からの収入」「その他収入」、50代の「給料(夫)」「自家営業(夫)」なども前年を上回りましたが、総合の「実収入計」は前年比96.3%でした。

非消費支出

税金、社会保険
私的保険

60代以上で「所得税(夫・妻)」を還付された方があり、「健康保険(短期掛金)」「個人年金」「生命保険」を年払いされた方があったにも関わらず「非消費支出計」は前年比93.1%となりました。

消費支出

総合の1位は「食費」、2位の「教育費」は40代、50代で高校、専門学校、大学の入学金や授業料、学生マンションの契約をされた方があったようです。3位は「社会保険計」、生命保険や学資保険、個人年金を年払いされた方が各年代にありましたので「私的保険」は総合4位に、総合5位の「教養娯楽費」は60代以上の旅行関連支出が押し上げたようです。

4月の熊本地震で改めて地震の恐ろしさがクローズアップされました。今までの耐震補強が役に立たないという問題がありましたが、阪神淡路大震災、東日本大震災の経験を生かしたボランティア活動なども早い時期から始まっています。長期にわたる支援の一つとして買い物一つにも心配りしたいものです。なお、住宅ローンを組んでおられる方は火災保険に付帯して地震保険に加入されることもお勧めします。

ランキング

	総合	20代～30代	40代	50代	60代以上	年金世帯
1	食費 68,874	家地 58,911	教育 122,263	教育 139,129	食費 68,318	食費 66,430
2	教育 63,658	社保 52,110	食費 72,447	社保 80,058	教娯 46,893	教娯 48,443
3	社保 56,958	食費 51,749	社保 71,201	食費 72,820	社保 38,613	交際 32,372
4	私保 34,552	私保 44,791	家地 49,166	私保 60,857	交際 32,125	社保 28,025
5	教娯 32,965	保医 40,695	税金 37,543	税金 53,601	水光熱 24,532	水光熱 24,292
6	職主 30,825	教育 32,581	私保 32,847	職主 45,073	職主 23,259	職主 21,814
7	税金 27,930	税金 29,950	職主 31,729	家地 39,132	私保 19,085	私保 15,967

税金：税金計、社保：社会保険計、私保：私的保険計、家地：家賃地代、水光熱：水道光熱費、保医：保健医療費、教娯：教養娯楽費、職主：職業主婦費